

C. カビ抵抗性

N Lペースト発泡硬化体のカビ抵抗性を調べるために、JIS Z 2911（かびの抵抗性試験方法）に準じて、以下に示す3種類のカビの混合菌を培養し、菌糸の発育状況の経過を調べた。その結果は表-2. 3及び表-2. 4の通りであり、N Lペースト発泡硬化体の表面に菌糸の発育は生じたが、強度低下は認められなかった。

〈菌の種類〉

- ・アスペルギルス ニゲル FERM S-1
- ・ペニシリウム シトリウム FERM S-5
- ・クラドスポリウム クラドスポリオイデス FERM S-8

表-2. 3 菌糸の発育状態の観察結果

経過月数	菌糸の発育状況
1 箇月	菌糸の発育部分の面積は、全面積の1/3を超えない。
2 箇月	菌糸の発育部分の面積は、全面積の1/3を超える。（全面）

表-2. 4 力学的特性 (n=5)

経過時間 (日)	圧縮強さ (MPa)		曲げ強さ (MPa)		引張強さ (MPa)	
	\bar{x}	$\hat{\sigma}$	\bar{x}	$\hat{\sigma}$	\bar{x}	$\hat{\sigma}$
0	0.33	0.017	0.82	0.066	0.68	0.069
6 5	0.33	0.016	0.86	0.044	0.66	0.039

\bar{x} : 平均値
 $\hat{\sigma}$: 標準偏差